



おつかれさま会 (3/10 デイセンターあゆみの家：大垣フォーラムホテル)

あゆみの家

No. 113号

ふつうの暮らし

「ふつうの暮らし」という表現を知っている人は多くはないかもしれませんが、普通の暮らしを当たり前のようにしている大多数の人たちにとっては考える必要のないことだからです。

障がいのある人たちの生活のあり方を語り合うとき、この「ふつうの暮らし」という言葉をしばしば耳にすることがあります。それは、自立した生活に困難を抱え支援を必要とする人たちが、生まれ育ち、慣れ親しんだ地域から離れて、特定の場所で集団生活をせざるを得ない実態があるからです。知的障がいのある人たちだけを例に挙げれば、現在でも全国で一三万人以上の人たちが施設入所支援という障害福祉のサービスを利用して、集団で生活されています。このような特別な生活形態を見直して、気こころの知れ合った少人数の仲間とともに、できるだけ町のなかで暮らし続けられるようになることを目指して始まった仕組みがグループホームの制度です。一九九〇年にスタートしたグループホームでは、現在、一〇万人以上の人たちの暮らしが実現しています。これまで、「ふつうの暮らし」と言うときは、主にこのグループホームでの生活を意味していました。

前述の施設入所支援からグループホームや一人暮らしの生活に移っていくことが、現在の障害福祉施策の大きな柱の一つです。障害福祉計画等では「地域移行」と呼ばれています。

「ふつうの暮らし」は、隔離や排除ではなく、障がいのある人たちが地域に溶け込んで暮らすことを目指していますので、地域の皆さまの理解と受容が求められます。

少子高齢化や人口減少、過疎化など社会状況が大きく変わる中であって、今は、障がいのある人たちだけでなく、高齢者も子どもも共に暮らす「共生社会」が目指されるようになってきており、福祉制度においてもこれら三者と一緒に支援しようとする「共生型サービス」などが始まろうとしています。

「あなたの隣り人を愛しなさい」

理事 名和 桂子



最近「ポスト真実」「DHMO」「ポピュリズム」「新国家主義」など聞き慣れない言葉が次々と耳に目に入ってきます。一つ一つの言葉の意味をまだ正確に理解できていない私ですが、何か世界が大きく変わっていく気配を

感じます。変化することは良いことでもあります。これらの言葉の中に言いしれぬ不安のようなものを感じています。アメリカの大統領がかわりました。「アメリカファースト」「自国第一主義」をかかげ、毎日のように今までもしなかったことを次々と実行に移そうとしています。アメリカだけに限らず世界の他のリーダーたちも同じような方向に向かっていくようです。自由主義の秩序が乱れ始めています。どうなっていくのでしょうか？心配です。国も自分たちのことだけを優先し、個人も自分だけければよいと考えるようになると、一番被害を受けるのは弱い立場にある人たちです。福祉の世界はどうなっていくの

でしょうか。私は一年ほど前からあゆみの家の一〇あるグループホームを順番におたずねして食事会をさせていたでいています。一緒にお食事をし、お話をし、聖書のお話を聞いていただいたり、季節の歌と一緒に歌ったりします。毎回とても楽しくて、私自身が一番喜んでいきます。ホームの方々ともだんだん親しくなり、会うとハイタッチをしてくれたり、「今度いつ来るの。」と聞いてくれたり、利用者の方々も楽しみにしてくれているのだなあと私もうれしくなります。みなさんは、とてもストレートで飾り気がなく、時には戸惑うこともあります。交わりの中で愛し合うことは、また、仕え合うこととはどういうことなのかをいつも学ばせてもらっています。これからは是非続けさせていたきたいと思っています。

こんな時代だからこそ聖書が教える「神を愛しなさい」そして「あなたの隣り人を愛しなさい」といういましめが一番大切なこととして実践される世界を目指していかなければならぬと思います。愛が冷えた世界にならないように私たちの執り成しの祈りがより大切になっていくように思っています。

ホームへの来客者があるということ

きずな2006 生活支援員 高月 晴菜

私たちの生活にとっては何気ない事のひとつですが、ホームで生活をしておられる方々にとって特別な意味を持つている事の中に「ホームへの来客者」があります。自分のお気に入り物の物を見てもらいたい、お部屋やホームの中を案内したい等、自分のことを知ってもらったり、ホームでの生活の様子を知ってもらいたい、また、もてなしたいと思っておられる方が多くおられます。ホームでの外食や外出、大好きな趣味の活動に没頭されることも楽しみな活動ではあります。ホームに「お客さん」が来てくれることもホームで生活しておられる方々にとっては楽しみなことのひとつなのです。「この前、〇〇さんが来てくれてね、それで・・・と嬉しそうにお話される姿もよく見かけます。

きずな2006では、二〇一五年の九月より大垣ルーテル教会の名和さんとの食事をさせて頂いています。名和さんが食事を持ってホームを訪ねて下さり、食事を一緒にしながら世間話をしたり、教会や聖書のお話を聞いたり、時には創作活動をされています。ホームの方々に名和さんとの食事会についての感想を尋ねると、ほとんどの方々が「名和さんの食事会が好きだし、これからも来て欲しい」と話され、皆さんからの感想で一番多いのが、名和さんが用意してくださる食事がおいしい、でした。ホームの方々の希望に合わせておでんやちらし寿司、唐

揚げ等、そのときのホーム毎にメニューをアレンジしていただけているのが、皆さんにとっても魅力となつてくるようです。他には、名和さんや職員と一緒に食事が出来るのが嬉しい、みんなと会話できることや貼り絵をしたり何かを作ったりすることが楽しい、等の感想がありました。

教会の方よりホームで生活をしておられる方々との交わりの場を持ちたいとのことで始まったものですが今は早く名和さんに来てもらいたい、とホームの方々が名和さんの来訪を楽しみにしておられるといった状況です。たとえホームへの届け物であったとしても、ホームを訪ねた時に玄関まで出迎えて下さったり、「どうぞ、ゆっくりして行って下さい。」とホームの方々が言われる姿を見てみると、ご自分の住まいであることもしっかり認識して喜んで住んでいただけであるんだな、と実感が湧きます。ホームに来客者があることが、ホームで生活をしておられる方々の生活のハリにもなっているのではないかなと思います。



綾野ホーム食事会



あゆみホーム食事会

活動のあり方

第二あゆみの家

生活支援員 浅井 愛加

第二あゆみの家の利用者は高齢化が進み、徐々に生活のあり方や過ごし方が変わってきています。その中でいかに生活の中で楽しみや潤いがあり、豊かな生活を送っていたただけるように支援するかが、私たちの大きな役割だと思っています。

今回は高齢の方が一番多く所属されている「やなぎグループ」について紹介します。外に出る機会が少ない利用者さんに四季の季節を感じていただけるような創作活動を含め、楽しんでできる活動の提供を心がけています。身体的なケアが多いグループでもある為、定期的に理学療法士の先生にアトバイスを頂き活動の中でリハビリも取り入れています。高齢で車いすの方が多いため、グ



音楽療法



喫茶を楽しみました！



創作活動

ループ全員での外出なども難しいのが現状です。先日、活動場所を変えサンドイッチを食べてコーヒーを飲む時間を設けました。外出している訳ではないですが、場所を変え少し環境を変えるだけで楽しまれている姿が多く見られ、気分転換になったのだと感じます。音楽療法は月に一度講師の先生を招きやなぎグループ利用者が全員参加している活動です。音楽を通して仲間と関わったり、楽器を触ることで身体を動かしたり、音楽が好きな利用者は歌いたい歌を先生にリクエストをしたり、どんな歌を歌ったのか職員に教えてくれたりとコミュニケーションがはかれる活動でもあります。創作活動の時に意欲的に参加される利用者や音楽療法の時に意欲的に参加される利用者など様々ですが、ひとりひとりが自分に合った活動を見つけている事が出来るように今後も支援し、利用者と職員が一緒に楽しめる活動をしていきたいです。

地域との交流がもたらすもの・・・

ぐっどらんど 所長補佐 大原 里美

大垣市綾野にぐっどらんどの事業所があります。徒歩五分ぐらいの場所に幼稚園があり、月に一回一時間ほどですが、子供達と交流を行っています。

朝、ぐっどらんどでの朝礼が終わると、毎回三・四名の仲間達と徒歩で向かいます。皆行き慣れた場所なのでニコニコした表情をしながら幼稚園に到着。そのころには既に園児達は整列して私たちぐっどらんどの受け入れ態勢は万全です。

毎回順番に参加しているので、到着すぐにすることは自己紹介から始まり、ダンスやゲーム・指遊びなどして一緒に楽しみます。手をつなぎながら手を上げる・走る・引っぱり合いをするなど、遊びや、ダンスの中にはこういった動作はたくさんあります。痛くないように・転ばないように・びつくりしないように・・・

一歳児から年長組の子供達ですから、大人が走ったりするようにはできない子供達への配慮が必要となってきましたが、ぐっどらんどの仲間達は今までの経験から小さな子供達が危なくないように、戸惑いながらも配慮している様子が伝わってきました。

日頃小さな子供とふれあう機会が少ない人が多い中、こうした経験はいろいろな学びに繋がっていきます。



園児達としっぽ取りゲーム



活動後、お別れの握手



ぐっどらんどでのお買い物体験

また、近隣小学校との交流も行っており、子供達が障害についての理解を深める為に、活動の様子を見学に来ました。引率にみえた先生も子供達が障害を持つ人への理解の気持ちをおこない、児童からの質問を引き出していただきました。作業にも一緒に取り組み、どんな作業をしながら毎日の活動をしているのかも経験をしてもらいました。

この経験は子供達が大人になったとき、大きな「つなぐ力」となり、良き理解者として成長してもらえらることを期待していきたいと思います。

私たちの暮らすこの世界には、子供やお年寄り・国籍の違う人・ハンディを持つ人、いろいろな人がいます。知らないもの同士が理解しあうには、ふれあいを通し相手を知ることから始まります。自分たちのことを知ってもらったり、相手を知る、お互いの歩み寄りが大事だと思っています。

こうした取り組みをきっかけとして、社会・地域が暮らしやすい場となるために、仲間達と楽しみながら活動に取り組んでいきたいと思えます。

あゆみの家 クリスマス祝会

2016年度クリスマス祝会のきらりと輝く ★素敵な瞬間★ を集めました！



ハープの優しい音色が素敵でした♪
一緒に楽器を鳴らして演奏もできて楽しかった♪



デイセンターのみんなで参加できて、楽しい時間になったよ♪



クリスマスソングに楽器を合わせて楽しみました！
少し緊張しながらもがんばりました！



明るく元気にエビカニクス♪



女性利用者は、薄化粧して、女子力アップ！



「恋ダンス」みんなで踊って、すごく楽しかったです♪

出来事ピックアップ



デイセンターあゆみの家
お餅つき(1/7)



きずな2006
日帰り旅行 なばなの里(12/3)



ぐっどらんど
電車で名古屋に(2/17)



すまいるらんど
新年会 外食(1/13)



林町デイセンター
いちご狩り(2/22)



第二あゆみの家
ポプラG モレラへ(2/20)

行事予定

4/8 (土) 創立記念日
 4/22(土)~23(日) あゆみの家バザー

最近のできごと(12/1~2/28)

- 12/ 1 (木) えーるG喫茶外出 (第二あゆみの家)
- 12/ 5 (月) 綾里幼稚園交流会 (ぐっどらんど)
- 12/14 (水)、15(木) 喫茶外出 (ぐっどらんど)
- 12/17 (土) クリスマス祝会 (林町ディセンター)
- 12/17 (土) 喫茶外出 (すまいるらんど)
- 12/23 (金) クリスマス祝会
- 12/25 (日) 教会礼拝
- 1/ 5 (木) 新年会 (ディセンターあゆみの家)
- 1/ 6 (金) 新年会 (第二あゆみの家)
- 1/ 7 (土) 新年会 和太鼓演奏会
(林町ディセンター)
- 1/ 7 (土) 新年会 (ぐっどらんど)
- 1/13 (金) 新年会外食 (すまいるらんど)
- 1/16 (月) 新年会 (とうだいまえ)
- 2/ 6 (月) 綾里幼稚園交流会 (ぐっどらんど)
- 2/ 6 (月) 一日外出 (とうだいまえ)
- 2/ 6 (月) 美容ボランティア (第二あゆみの家)
- 2/ 8 (水) いちご狩り (ディセンター)
- 2/13 (月) 散髪ボランティア (第二あゆみの家)
- 2/15 (水) いちご狩り外出 (林町ディセンター)
- 2/17 (金) 一日外出 (ぐっどらんど)
- 2/17 (金) 喫茶外出 (すまいるらんど)
- 2/22 (水) いちご狩り外出 (林町ディセンター)
- 2/24 (金) "

ふれあい交流 (11/1 ~ 1/31)

延べ: 5回 87人
 <学校名> 合原小学校、表佐小学校

ボランティア (11/1 ~ 1/31)

延べ: 92回 120人
 (団体: 55回 93人・個人: 37回 37人)
 <ボランティア団体名、学校名> ※順不同
 大垣友の会、養老赤十字奉仕団、大垣女子短期大学
 大垣桜高校、福寿ドレミバイオリン、
 オカリナの会「ほほえみ」、わいわいクラブ

あゆみの家バザーのお知らせ

4月22日(土) 10:30~16:00
 4月23日(日) 10:00~15:00
会場 / 垂井町文化会館

**ご家庭に眠っているまだまだ使える不用品
 の献品もよろしくお願いいたします。**

ディセンターあゆみの家のたいやき君という活動で、
岐阜新聞本社に見学に行ってきました。



岐阜新聞に載りました! 2017年2月8日(水)

編集後記

あゆみの家はキリスト教精神で運営されているため、毎朝、利用者とともに神さまに礼拝をささげて一日を始めます。3月はあゆみの家の創設者のポーマン先生が天に召された月です。そのため3月の礼拝では、「ディセンターあゆみの家」でも「第二あゆみの家」でもポーマン先生がお好きだった讃美歌の「輝く日を仰ぐとき」を歌っています。私はポーマン先生にお会いしたことはありません。しかしその讃美歌を歌いながら、ポーマン先生が大事にされていたことを大切にしたいあゆみの家であり続けてほしいと強く思いました。これからも神さまの祝福が、あゆみの家に豊かにありますように。(伊藤)

編集: 社会福祉法人あゆみの家 URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>
 〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2 E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp
 Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

グループホームのご案内

- あゆみホーム
- めぐみホーム
- 東神田ホーム
- 岩手ホーム
- 養老公園ホーム
- Tel 0584-82-3056
- Tel 0584-22-4345
- Tel 0584-22-2264
- Tel 0584-22-3032
- Tel 0584-34-3170
- 青柳ホーム
- 綾野ホーム
- 表佐ホーム
- 習南ホーム
- あいかわホーム
- Tel 0584-89-6231
- Tel 0584-92-2405
- Tel 0584-23-3305
- Tel 0584-22-5079
- Tel 0584-23-0822